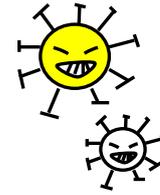


感染症に気をつけよう!

2016年【9月号】



横浜市内の感染症 流行状況

感染症	流行状況		説明 【解説付き既刊号】 ← クリック
	流行状況	流行状況	
ヘルパンギーナ	警報	減少	急な高熱と <u>のどの奥の水ぶくれ</u> が特徴です。まれに髄膜炎等の重い合併症を起こします。大人でもかかります。【'16.8号】
RS(アールエス)ウイルス感染症	やや流行	増加	冬場のかぜの一つですが、 <u>増加傾向が例年より早く表</u> れています。日頃から <u>手洗い</u> を習慣付けておきましょう。【'15.10号】
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	やや流行	横ばい	<u>全国的にも例年より多い</u> 状況です。年齢が上がると重症になります。最も有効な予防方法は <u>ワクチン接種</u> です。【'16.6号】
流行性角結膜炎 (はやり目)	やや流行	横ばい	幅広い年代にみられ、 <u>職場や家庭など集団での流行</u> も起こします。 <u>手洗い</u> を正しく行い、タオル等の共用は止めましょう。
腸管出血性大腸菌感染症	やや流行	増加	<u>O157</u> など病原性大腸菌に汚染された物を口にして、感染します。 <u>食材の加熱・洗浄、手洗い</u> で予防しましょう。【'16.7号】

今、気をつけたい感染症 腸管出血性大腸菌感染症



飲食物から以外に、感染した人から人へもうつります。

✓市内でも ✓家族の間で感染が広がった例が ✓報告されています。

家庭での感染予防には、手洗いが大事です。

- ✓トイレの後 ✓調理前 ✓調理中に生ものをさわった時 ✓食事の前
- ✓下痢をしている子供の世話をした後などに ✓しっかり手を洗いましょう。



トイレは、いつも清潔に保ち

- ✓ドアノブ等 ✓手を触れる所は
- ✓特に丁寧に掃除しましょう。



下痢症状があれば

- ✓タオルは他の人と
- ✓別にしましょう。



腹痛・下痢・血便など症状が出てしまったら

- ✓早目の受診が必要です。
- ✓自分の判断で下痢止め薬を飲むことは
- ✓止めてください。



横浜市衛生研究所
感染症・疫学情報課

【横浜市感染症情報センター】